

# VOICES from the ARCTIC

Vol.34 / 2024.1.16

ArCS II 国際政治課題  
北極域実践コミュニティ事務局



## イヌイトグループ、北極圏での劇的な影響を挙げ、国際的な気候変動対策におけるより大きな役割を求める



北極域のイヌイトの人々は、気候変動の最も劇的な影響に直面しており、気候変動に対処するための国際的な行動において、より大きな発言権を求めている。

記事参照：Inuit group, citing dramatic effects in the Arctic, calls for bigger role in international climate action - ArcticToday (2023.12.1/Arctic Today)



2022年8月2日、永久凍土の融解によって急速に浸食されつつあるウトキアグビックの断崖絶壁に建つ家々。右側の家は放棄された。断崖の麓には砂を詰めたスーパーサックが置かれているが、これは海の波をせき止め、浸食を遅らせるための努力の一環である。(Photo: Yereth Rosen/Alaska Beacon)

## アラスカ南東部の海藻に含まれるレアアースを探す 連邦政府のプロジェクト



貴重なレアアース（希土類元素）を海藻から抽出できれば、技術や再生可能エネルギー機器に使用する材料を地中から掘り起こす必要がなくなるのではないかと？

この疑問を解決するため、アラスカ大学フェアバンクス校は、アラスカ南東部の海域に生育する海藻に、そのような元素が含まれているかどうかを調べる新しいプロジェクトを立ち上げており、3月に開始される。このプロジェクトは、レアアースの国産化を推進する米国エネルギー省の資金援助を受けており、同省が資金援助している3つの「藻類採掘」プロジェクトのうちの1つである。

記事参照：Federally funded project will search for rare earth elements in Southeast Alaska seaweed - ArcticToday (2023.12.4/Arctic Today)

## LNG排出量評価、北極圏プロジェクトに悪いニュース



液化天然ガスは、これまで考えられていたほどクリーンではない可能性があることが、新たな研究で明らかになった。液化ガスは石炭に代わる汚れの少ない燃料としてもはやされているが、その生涯排出量は石炭のそれを上回ることが、新しいデータによって示唆されている。

記事参照：LNG emission assessment spells bad news for Arctic projects - ArcticToday (2023.12.5/Arctic Today)

## EU、月10億ドルのロシア産北極圏LNGを依然購入

ウクライナへの本格的な侵攻からほぼ2年が経過したが、ヨーロッパ諸国は記録的なレベルでロシアの北極域液化天然ガスを輸入し続けている。ロシアの化石燃料の拡散に関する新たな報告書は、EU諸国による液化天然ガス（LNG）の継続的かつ絶え間ない輸入に焦点を当てている。米国とは対照的に、EUはこれまでLNGの輸入に制裁を科していない。その結果、EUは依然としてロシアのLNG輸出先の50%を占めており、毎月10億ドルを超えるLNGがロシアに送られている。

記事参照：EU still buying \$1bn of Russian Arctic LNG a month - ArcticToday (2023.12.11/Arctic Today)

## 北極圏の温暖化が世界を脅かす、年次報告書が警告



北極域の夏は記録的な暖かさに見舞われ、異常な山火事や氷河の融解を引き起こした。米国海洋大気庁（NOAA）の2023年北極域レポートカードによると、北極域の夏の気温は少なくとも1900年以降で最も高く、北極域は人為的な気候変動により地球の他の地域よりも2倍の速さで温暖化している。この年次報告書では、世界的な影響を及ぼす異常気象や気候現象がより頻繁に発生することが示されている。記事参照：Arctic warming threatens wider world, annual report card warns - ArcticToday (2023.12.13/Arctic Today)



2023年4月6日、ノルウェー、スヴァールバル諸島のニュー・オレスン郊外にあるコングスフィヨルドの雪の中に立つ、ホッキョクグマからの警告を示す標識。過去4年間、コングスフィヨルドで目撃されたホッキョクグマの数は、かつてないほど多くなっている。海水が失われ、狩猟の場が失われたため、ホッキョクグマはより空腹になり、餌を求めて近くの島々をうろつくことが多くなったからだ。生物学者のジョアンナ・スーリッチ（31歳）は、「海岸沿いで長く働いていれば、万全の注意を払っていても、いずれはホッキョクグマに遭遇する可能性がある」と言う。(Photo: Lisi Niesner / Reuters)

## セベロドヴィンスクに 氷上船用の巨大造船所が新設 される可能性

ロシアのウラジーミル・プーチンは12月11日、アルハンゲリスクでアレクサンドル・ツイブルスキー知事と会談した際、大規模な新造船所建設の選択肢について話し合った。ロシアにとっての課題は、ほとんどの造船所が軍艦や潜水艦の受注で帳簿が埋まっているため、貨物船を建造する造船所のキャパシティが不足していることだ。ツイブルスキー氏はプーチン大統領に対し、「セベロドヴィンスクには非常に良い条件がある」と述べた。  
記事参照：Severodvinsk could get new giant shipyard for ice-classed vessel - ArcticToday (2023.12.15/Arctic Today)



白海沿岸のセベロドヴィンスクには現在、ズヴェズドツカとセヴマシュの2つの潜水艦造船所がある。新造船基地はこの画像の左側に計画されている。(Photo: Thomas Nilsen)

## マスク氏の衛星通信「スター リンク」、北極圏での米軍の テストに合格



米宇宙開発企業スペースXの衛星通信サービス「スターリンク」は、北極域での9カ月にわたる米軍のテストを無事完了した。戦略的競争が激化しつつあるこの地域で、イーロン・マスク氏率いる同社が米国防務省との関係を深める道が開かれた可能性がある。  
記事参照：マスク氏の衛星通信「スターリンク」、北極圏での米軍のテストに合格 - Bloomberg (2023.12.7/BloomBerg)

## 北極圏 LNG、日本など参画 凍結か 米制裁「不可抗力」 で一ロシア紙



25日付のロシア経済紙コメルサントは、ロシア天然ガス大手ノバテクが主導する北極域の液化天然ガス（LNG）プロジェクト「アークティック LNG 2」について、権益を持つエネルギー・金属鉱物資源機構（JOGMEC）と三井物産などが「不可抗力」から参画を凍結したとの関係者の話を伝えた。

記事参照：北極圏 LNG、日本など参画凍結か米制裁「不可抗力」で一ロシア紙：時事ドットコム (jiji.com) (2023.12.26/JiJi.com)

## 中国、北方海路の通過貨物を新記録に押し上げる

中国におけるロシア産原油の旺盛な需要により、2023年の北極海航路の通過貨物量は記録的なものとなった。十数隻の貨物により、150万トンの原油がバルト海から北極海を通過して中国に運ばれた。同航路の総輸送貨物量は210万トンとなり、2021年に記録した過去最高を上回った。

記事参照：China pushes Northern Sea Route transit cargo to new record - ArcticToday(2023.12.18/Arctic Today)



## 飼育員が北極で採集した北極の生き物たちを追加展示！ 展示作業を一般公開します



2023年6月28日から8月1日までの約1ヶ月間、北海道大学の練習船「おしよ丸」が実施した北極航海調査に飼育員が同行し、魚類やエビ・カニなど約40種400点の生き物を採集しました。クリオネなど一部の生き物は8月4日から展示中で、今回、海遊館初展示となる「クサウオの仲間」を含む10種40点を新たに追加展示します。

記事参照：飼育員が北極で採集した北極の生き物たちを追加展示！展示作業を一般公開します | 海遊館ニュース | 海遊館とつながる | 海遊館 (kaiyukan.com)(2023.12.5/海遊館)

←NSRで砕氷船に護衛される船舶のキャラバン  
(Source: Sovcomflot)

『北極域実践コミュニティ VOICES from the ARCTIC』は、北極域実践コミュニティの情報発信の活動の一環として、北極域の多岐にわたる社会的課題やその解決に向けた取組に関連するニュースを集めて、ダイジェストしたものです。北極域の社会的課題と世界的な課題との関連性を示すため、国際連合『持続可能な開発目標 (SDGs)』の17の目標との対応関係を各ニュースに付しています。

### 【編集後記】

Vol.34は、2023年12月のニュースを掲載しています。  
アークティックLNG2に対するアメリカの制裁の余波が続いています。COP28に合わせてイヌイット極域評議会が発表した提言も注目されます。  
(大西)

発行元：ArcS II 国際政治課題 北極域実践コミュニティ事務局  
監修：大西富士夫 (北海道大学北極域研究センター)  
E-mail: tdcop@arc.hokudai.ac.jp  
WEBサイト: <https://tdcop.arc.hokudai.ac.jp/>

